

# 第2期鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン (素案)



令和7年3月

鳥取市 都市整備部 都市企画課

## 目次

1. ビジョンの基本的な考え方 .....	3
(1) 策定の趣旨 .....	3
(2) 位置づけ .....	3
(3) 連携体制 .....	4
(4) 対象期間 .....	4
(5) 対象エリア .....	4
2. 鳥取城跡周辺を取り巻く状況 .....	5
(1) 現況 .....	5
(2) これまでの取り組み .....	5
(3) 現状・課題と求められる施策 .....	7
3. 2034年（令和16年）の鳥取城跡周辺のめざす姿 .....	8
(1) めざす姿 .....	8
(2) 基本目標 .....	8
(3) 重点エリアの設定 .....	9
(4) 重点エリアにおける基本方針・ゾーニング .....	10
(5) 重点エリアにおける実施施策 .....	12
(6) 主な実施施策の概要 .....	15

# 1. ビジョンの基本的な考え方

## (1) 策定の趣旨

本市は、平成26年2月に「鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン」を策定し、擬宝珠橋や中ノ御門表門などの大手登城路の復元整備を進めるとともに、堀端道路の美装化や歩道拡幅などのハード事業、鳥取三十二万石お城まつりの開催、観光ボランティアガイドの育成支援などのソフト事業に取り組んできました。また、令和元年5月には、鳥取城跡附太閤平や仁風閣等を構成文化財に含むストーリーが日本遺産に認定されました。

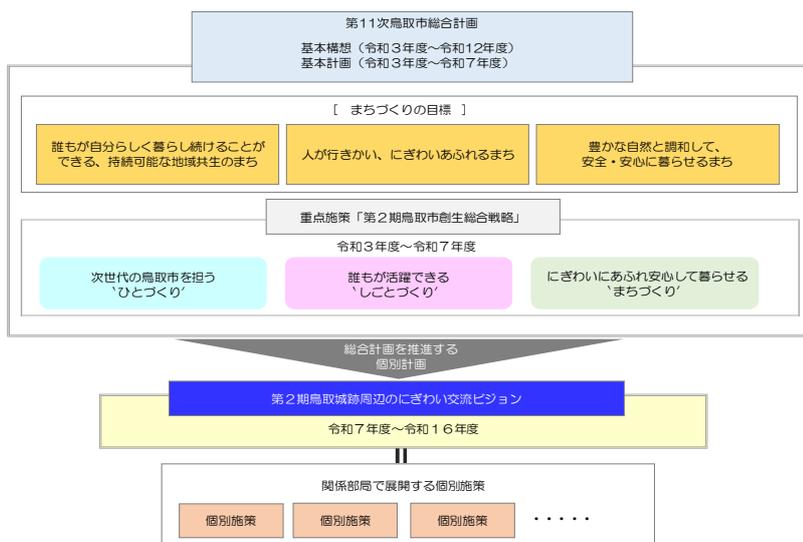
こうした取組により、鳥取城跡などを訪れる市民や観光客も着実に増えているほか、令和4年度には、城跡周辺の景観が国土交通省の「都市景観大賞」（都市空間部門）を受賞するなど、一定の成果を上げています。

一方、城跡内にある文化観光施設「仁風閣」が、令和10年度下期に、同じく鳥取県立博物館が令和10年度以降にそれぞれリニューアルオープンを予定されています。さらに、近年のお城ブームなどにより、城跡周辺への関心が高まっているほか、城跡周辺の既存建物を利活用した飲食店なども新たに新店するなど、民間投資の動きも見られ、鳥取城跡周辺は今後さらなる飛躍が期待されているところです。

これらを踏まえ、今後も鳥取城跡周辺の自然・歴史・文化をいかしたまちづくりを進めるにあたり、市民や事業者等（以下「市民等」という。）と将来めざすべき姿を共有し、一貫性のある取り組みとするため、「第2期鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン」（以下「第2期ビジョン」という。）を策定します。

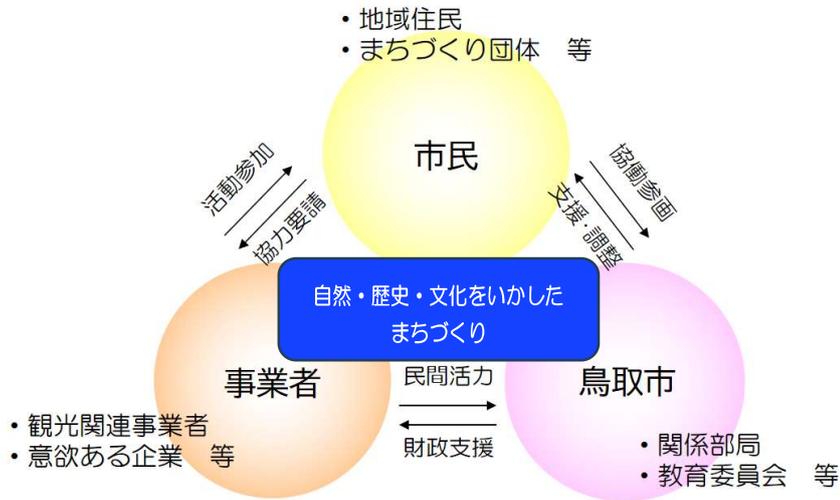
## (2) 位置づけ

第2期ビジョンは、鳥取城跡周辺のまちづくりについて、中長期的な方向性を明らかにするとともに、第11次鳥取市総合計画におけるまちづくりに関する個別計画となるものです。



### (3) 連携体制

第2期ビジョンの鳥取城跡周辺のめざす姿を市民等と共有し、協働・連携しながら自然・歴史・文化をいかしたまちづくりを進めます。



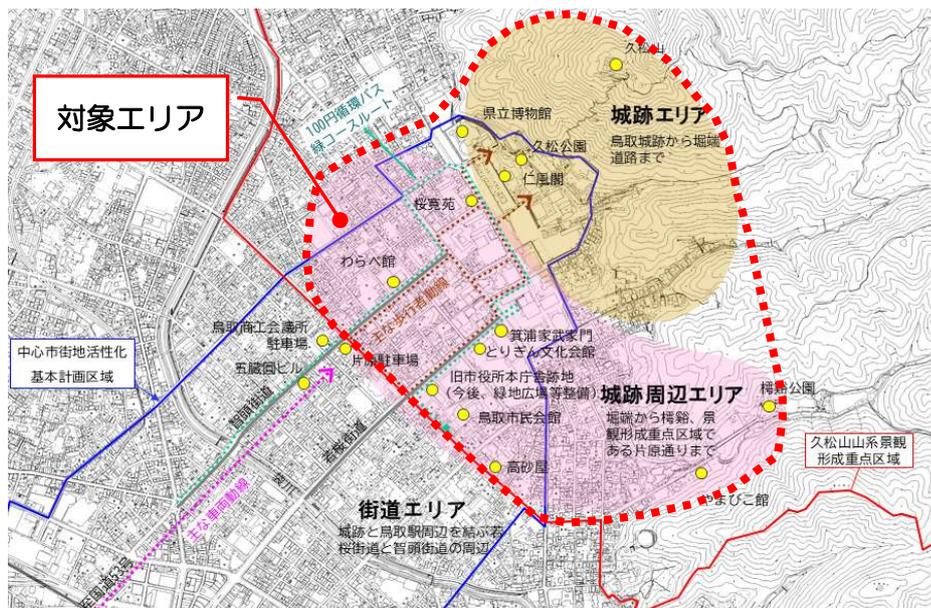
### (4) 対象期間

第2期ビジョンの対象期間は、令和7年度から令和16年度までの10年間とします。

また、社会情勢の変化や取組の進捗状況なども勘案し、適宜改訂を行うことで、上位計画や関連施策との連携を図ります。

### (5) 対象エリア

第2期ビジョンの対象エリアは、鳥取城跡から内堀までの「城跡エリア」及び内堀から片原通り・樽谿までの「城跡周辺エリア」とします。



## 2. 鳥取城跡周辺を取り巻く状況

### (1) 現況

鳥取城は戦国時代、織田信長の命を受けた羽柴秀吉の兵糧攻めで落城したものの、通常の攻撃では攻めきれない防御に優れた山城でした。現在では、久松山及び太閤ヶ平の中世城郭遺構と久松山の麓に遺構が残されています。

また、中心市街地のランドマークである久松山から袋川まで一帯は、お城を中心とした江戸時代の城下町の基盤を引き継いでおり、現在でも当時の区割や道筋をほぼそのまま残しています。加えて、昭和 27 年の鳥取大火により市街地の焼失したことを受け、復興事業として日本初の防火建築帯の整備が行われるなど、まちの歴史や文化を今に感じさせる地区となっています。

さらに、景観面では、中心市街地のどこからもランドマークである久松山を仰ぎ見ることができる本市の特徴的な景観を次世代に継承していくため、鳥取城跡及び周辺を含む久松山山系を景観形成重点区域に指定し、歴史・文化と自然が調和した景観づくりを進めています。

### (2) これまでの取り組み

平成 26 年 2 月の「鳥取城跡周辺にぎわい交流ビジョン」策定以降、鳥取城跡周辺において、以下のような取り組みを行ってきました。

所管課	これまでの主な取り組み
政策企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所旧本庁舎等跡地の活用推進（緑地広場等整備）</li> </ul>
文化交流課	<ul style="list-style-type: none"> <li>わらべ館の管理運営</li> <li>城下町とっとり交流館「高砂屋」の管理運営</li> <li>日本遺産構成文化財として PR（鳥取城跡・仁風閣等）</li> </ul>
観光 ・ジオパーク 推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>電動レンタサイクルの配置</li> <li>案内処「きなんせえ家」の設置</li> <li>ボランティアガイドの育成</li> <li>鳥取三十二万石お城まつりの開催</li> <li>鳥取城跡にぎわいづくりモニターツアーの開催</li> <li>周遊観光タクシーの運行（城跡立寄りコースの設定）</li> <li>鳥取城跡周辺駐車場の満車・空車情報及び 100 円循環バス運行情報提供システムの開発・導入</li> <li>公衆無線 LAN（Wi-Fi）の設置（久松公園、二ノ丸、お堀端付近）</li> <li>鳥取城跡、桜のライトアップの開催</li> <li>鳥取城跡ときめきマルシェの開催</li> <li>鳥取城跡二ノ丸三階櫓を AR（拡張現実）で再現</li> <li>旅行会社商談会、メディア等を活用した旅行商品の造成・PR</li> <li>若桜街道商店街の灯りによる夜間の魅力創出</li> <li>歴史的建築物（桜寛苑土蔵）を活用した観光拠点実証事業の実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 入込客数カウンターの設置（宝珠橋）</li> </ul>
都市企画課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 公共サインの設置</li> <li>▪ 周辺の公共施設の改修等にあわせて、周辺の景観と調和した色彩となるよう誘導</li> <li>▪ 良好な景観の情報発信等を実施</li> </ul>
まちなか未来創造課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 擬宝珠橋等に AR コンテンツを配置（中心市街地周遊促進）</li> </ul>
河川公園課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 市営片原駐車場（コミュニティホール・レンタサイクル完備）の管理運営</li> <li>▪ わらべ夢ひろばの管理運営</li> </ul>
道路課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ お堀端道路の無電柱化と道路美装化</li> <li>▪ 除草管理レベル向上</li> </ul>
文化財課	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 鳥取城跡の保存管理に向けた調査検討・計画</li> <li>▪ 擬宝珠橋と中ノ御門表門の竣工、中ノ御門渡櫓門等の復元推進</li> <li>▪ フォーラム実施や地元団体との協働、パンフレット作成など利活用</li> <li>▪ 鳥取城跡に文化財解説板を設置</li> <li>▪ 鳥取市歴史博物館「やまびこ館」の管理運営</li> </ul>

### (3) 現状・課題と求められる施策

鳥取城跡周辺の現状・課題、求められる施策を以下とおり整理します。

#### 現状・課題

##### 1. 文化財の保存・活用・維持管理について

- 文化財の復元や城跡遺構の研究が進んでいる。
- 城跡一帯のバリアフリー化が進んでいない。
- 城跡一帯の管理が複数の部署にまたがっており、調整に時間を要するケースが多い。

##### 2. エリア全体の景観について

- 周辺の電柱・電線類などが久松山や城跡の景観を損ねている。
- 公共施設などの近代的な建物もあり、城跡全体としての雰囲気不足している。
- 久松緑地や市道山手通り残地などが有効に活用されていない。
- 桜の樹勢が衰えており、植替えが行われている。
- 城跡一帯を保全する市民活動が行われている。

##### 3. 市民や観光客の受入体制について

- 訪れる市民や観光客の拠り所が不足している。(休憩施設、情報発信スペース、飲食・物販施設等)
- 歴史・文化資源が点在しており連携が不足している。
- 時間貸駐車場が不足している。

#### 求められる施策

##### 1. 文化財の保存・活用・維持管理について

- 文化財の復元・整備(仁風閣、中ノ御門渡櫓門)
- その他遺構の調査・復元検討(二ノ丸三階櫓、太鼓御門)
- 久松公園の整備と管理の効率化(管理事務所・バリアフリースペースの整備、一元化による管理の効率化)

##### 2. エリア全体の景観について

- 堀端周辺道路等の再整備(無電柱化・道路美装化、公共用地の有効活用等)
- 景観の整備・保全(建物外観デザインの統一、桜の維持管理・更新、市民活動等)

##### 3. 市民や観光客の受入体制について

- 城跡にぎわい拠点の整備(複合型ビジターセンターの整備)
- 移動周遊手段の拡充(周遊観光タクシーのプラン等の充実)
- 城跡へのアクセス手段の充実(パーク&ライドの推進)
- 案内・解説機能の拡充(案内・解説板の設置、ウェブツールの導入・活用等)
- イベントや体験コンテンツの充実(体験コンテンツの拡充)
- 飲食・物販機能の拡充(出店誘導、飲食・物販事業者への支援等)

### 3. 2034年（令和16年）の鳥取城跡周辺のめざす姿

#### （1）めざす姿

鳥取城跡周辺の自然・歴史・文化をいかしたまちづくりを進めることにより、市民や観光客などの憩いの場として「幅広い世代が憩い、交流し、体験できる自然・歴史・文化ゾーン」となることをめざします。

～目指せ！復活 鳥取城！～

幅広い世代が憩い、交流し、体験できる自然・歴史・文化ゾーン

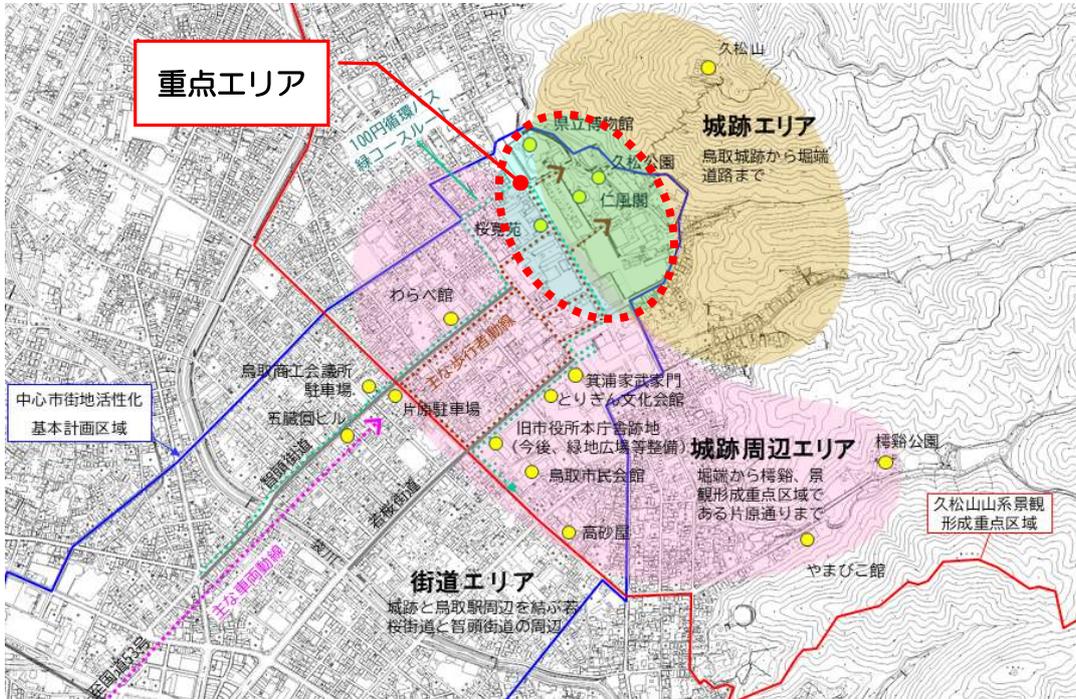
#### （2）基本目標

めざす姿を実現するため、以下の6つの基本目標を定めます。

1. 自然、歴史、文化に触れることができる機能の充実
2. 周辺と調和した良好な景観づくり
3. 様々な活動・交流の場づくり
4. 安全、快適な移動手段の充実
5. 交通アクセスの向上
6. 物販、飲食などの商業機能の集積促進

### (3) 重点エリアの設定

鳥取城跡周辺における自然・歴史・文化をいかしたまちづくりを牽引するため、下図に示す鳥取城跡の内堀周辺の範囲を「重点エリア」として設定し、施策を展開します。



#### (4) 重点エリアにおける基本方針・ゾーニング

重点エリアにおける3つの基本方針と、4つのゾーンを以下のとおり定め、中長期的に目指すべき空間形成を誘導します。

	<p>～目指せ！復活 鳥取城！～</p> <p>幅広い世代が憩い、交流し、体験できる自然・歴史・文化ゾーン</p>
---	---

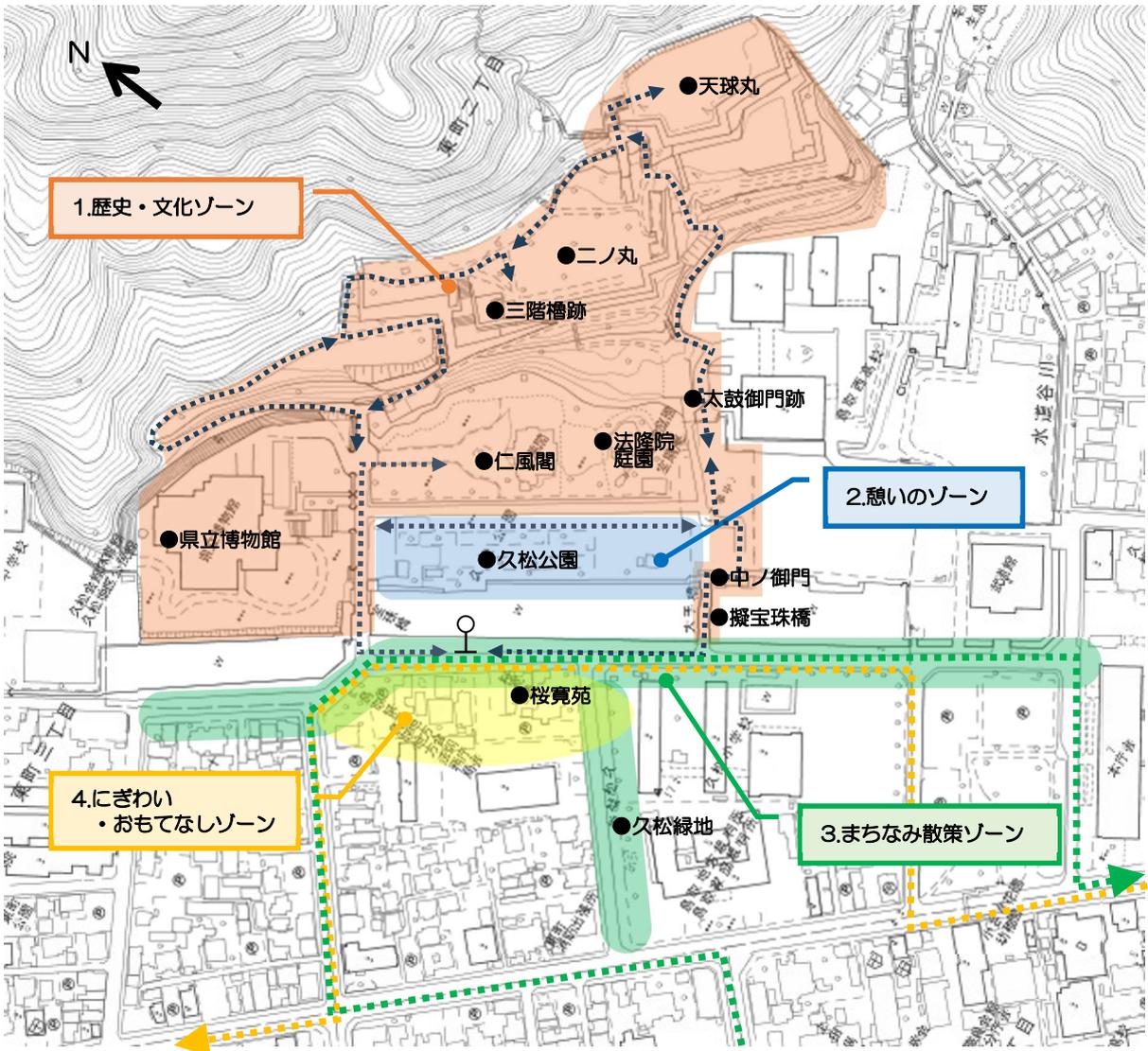


3つの基本方針	1. 文化財の保存・活用	まちづくりの核として、三階櫓や大手登城路、仁風閣などの文化財の復元・整備を行い、歴史的・文化的価値を磨き上げ、市民の誇りや愛着の醸成につなげるとともに、観光資源として活用します。
	2. エリア全体の景観向上	内堀周辺の修景・美装化など、自然・歴史・文化をいかした良好な景観形成を推進し、エリア全体の魅力や付加価値を高めます。
	3. 市民や観光客の受け入れ体制づくり	ビジターセンターなどの受け入れ環境の整備を行います。また、イベントや体験コンテンツの充実、飲食事業者などの出店支援を行い、滞在時間延長を促します。



4つのゾーン	1. 歴史・文化ゾーン	仁風閣などの文化財や県立博物館が集積し、本市の歴史・文化の魅力を伝えるゾーンです。
	2. 憩いのゾーン	案内機能を整備し、歴史・文化ゾーンへ誘導するとともに、イベントの開催や、花見やピクニックなどに多くの人を訪れるエリアで、来訪者が安心してゆったりくつろげるゾーンです。
	3. まちなみ散策ゾーン	市民や観光客などの来訪者が散策し、まちなみや景色を楽しむことができるゾーンです。
	4. にぎわい・おもてなしゾーン	飲食店などの充実を図り、にぎわいを生み出すゾーンです。

■重点エリアにおける4つのゾーン



【凡例】

	歴史・文化ゾーン
	憩いのゾーン
	まちなみ散策ゾーン
	にぎわい・おもてなしゾーン
	来訪者主要導線
	くる梨緑コース バスルート
	ループ麒麟獅子 バスルート
	くる梨・ループ麒麟獅子 バス停

## (5) 重点エリアにおける実施施策

### (ア) 実施施策一覧

重点エリアにおける実施施策は以下のとおりです。

基本方針		施策		主な取り組み		関係課
1	文化財の保存 ・活用・維持管理	1	文化財の復元・整備	1	仁風閣のリニューアル	文化財課
				2	中ノ御門渡櫓門の復元整備	
		2	遺構の調査・復元検討	1	太鼓御門、二ノ丸三階櫓等の復元検討	
2	エリア全体の 景観向上	1	堀端周辺道路等の再整備	1	歩車道の再配置・無電柱化・美装化	都市企画課 道路課
				2	小公園・広場の整備	
		2	景観の整備・保全	1	周辺環境と調和した景観の誘導	文化財課 都市企画課
				2	まちづくり団体が行う市民清掃ボランティア等への支援	観光・ジオパーク推進課 河川公園課
				3	桜の維持管理・更新	文化財課 観光・ジオパーク推進課 河川公園課
3	市民や観光客の 受入体制づくり	1	城跡にぎわい拠点の整備	1	複合型ビジターセンター施設の整備、管理・運営の一元化	文化財課 観光・ジオパーク推進課 文化交流課、河川公園課
				2	移動・周遊手段の拡充	1
		3	城跡へのアクセス手段の拡充	1	多様なアクセス手段の整備	観光・ジオパーク推進課 河川公園課 交通政策課
				2	くる梨・駐車場リアルタイム情報システムの整備	政策企画課 観光・ジオパーク推進課 交通政策課
		4	案内・解説機能の拡充	1	案内・解説板の充実	文化財課 観光・ジオパーク推進課 文化交流課
				2	ウェブツールの導入・活用	
				3	観光ガイド・インフォメーションスタッフの養成	
		5	イベントや体験コンテンツの充実	1	城跡の歴史などを活用したイベントの充実	観光・ジオパーク推進課
				2	観光客向けの体験コンテンツの造成	観光・ジオパーク推進課 文化交流課
		6	飲食・物販機能の拡充	1	飲食・物販業者等に対する支援	観光・ジオパーク推進課 経済・雇用戦略課

※施策コード：基本方針＋施策＋主な取り組み (例) 施策コード：1-1-1

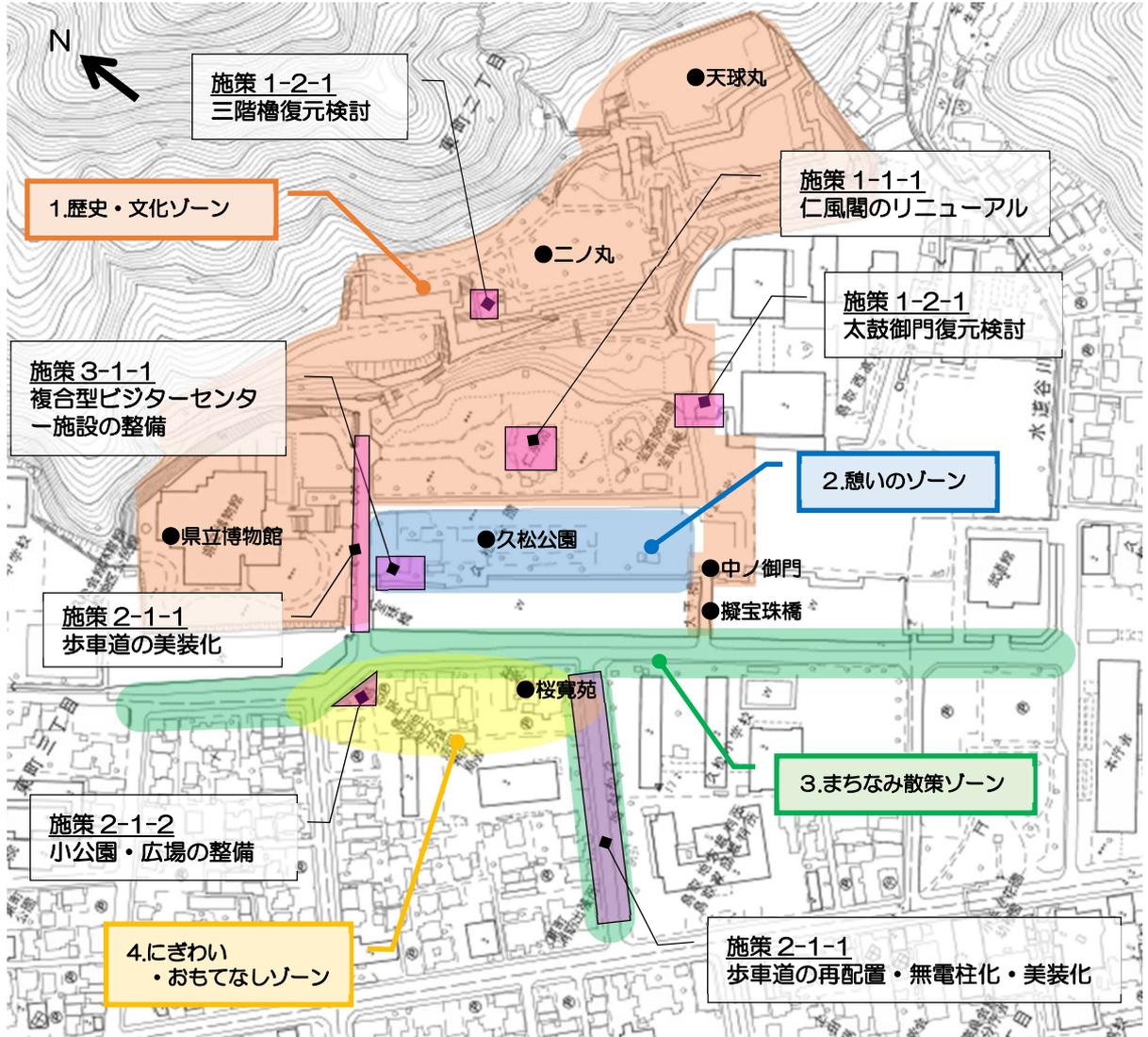
(イ) 主要施設の整備スケジュール

令和7年度から令和16年度までの10年間における、主要施設の大まかな整備スケジュールを示したものです。

なお、今後の社会情勢の変化や事業の進捗等により、スケジュールは前後します。

施策コード	取り組み	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	
		2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	
1-1-1	仁風閣のリニューアル	修繕				竣工・供用						
1-1-2	中ノ御門渡櫓門の復元整備	復元整備	竣工・供用									
1-2-1	太鼓御門、二ノ丸三階櫓の復元検討	復元検討・計画見直し				復元整備（想定）						
2-1-1	歩車道の再配置 ・無電柱化・美装化					整備				竣工・供用		
2-1-2	小公園・広場の整備					整備				竣工・供用		
3-1-1	複合型ビシターセンター施設の整備・運営	整備検討	設計	整備		竣工・供用						

(ウ) 施策の展開イメージ



【凡例】

	歴史・文化ゾーン
	憩いのゾーン
	まちなみ散策ゾーン
	にぎわい・おもてなしゾーン
	主要施設

## (6) 主な実施施策の概要

施策1	文化財の保存・活用・維持管理
-----	----------------

### 1.文化財の復元・整備

#### 【取り組み】

- 国重要文化財である仁風閣の保存修理工事を実施します。(令和11年度再館予定)
- 城郭の正面玄関である中ノ御門の渡櫓門を復元整備中です。(令和7年度公開予定)



中ノ御門渡櫓門  
CG制作提供：戸田建設株式会社広島支店

仁風閣

### 2.遺構の調査・復元検討

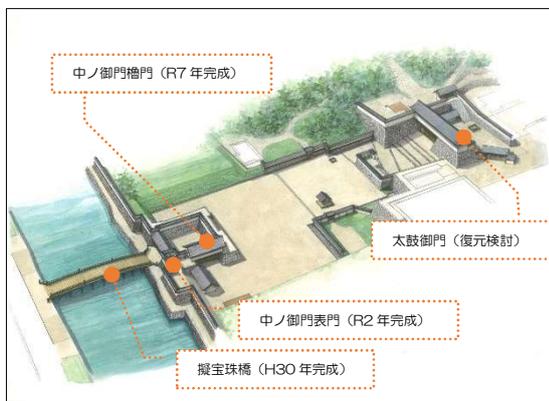
#### 【取り組み】

- 城郭の中核部である二ノ丸三階櫓の復元を視野に入れ、調査・復元検討を行います。
- 大手から城郭へ至る大手登城路の重要な部分を占める太鼓御門の復元を視野に入れ、調査・復元検討を行います。



二ノ丸三階櫓（復元検討）

二ノ丸三階櫓と走櫓、菱櫓（1879）  
出典：鳥取市



中ノ御門櫓門（R7年完成）

太鼓御門（復元検討）

中ノ御門表門（R2年完成）

擬宝珠橋（H30年完成）

大手登城路復元整備イメージ  
出典：鳥取市

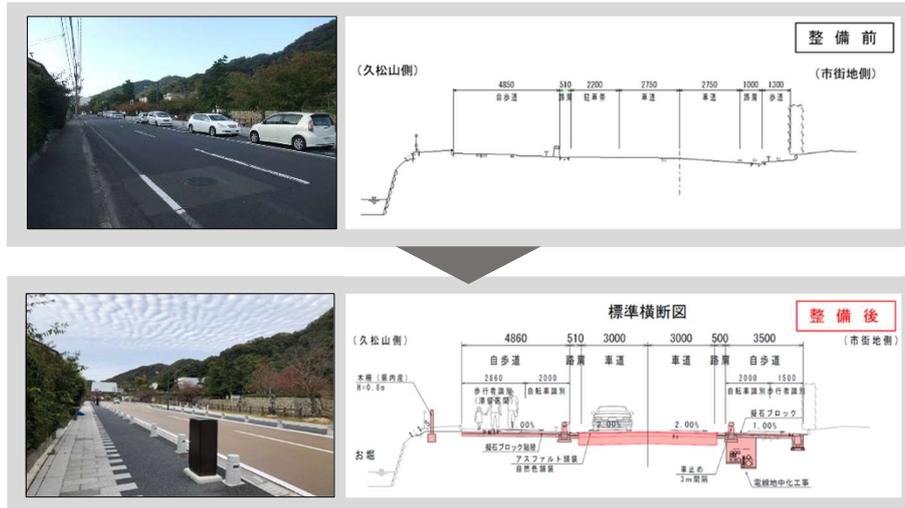
## 施策 2

## エリア全体の景観向上

### 1. 堀端周辺道路の再整備

#### 【取り組み】

- 無電柱化、自歩道・車道の再配置、道路の美装化、柵や植栽の整理等、周辺環境に調和した整備を行います。
- 来訪者がゆっくり散策や休憩できる歩行空間や広場の整備を行います。



参考事例：市道山の手通りにおける歩車道の再配置・無電柱化・美装化  
(平成 26 年度～令和 2 年度までの 7 年間で実施)

### 2. 景観の整備・保全

#### 【取り組み】

- 「鳥取市景観計画」及び「史跡保存活用計画」に基づき、城跡周辺の建築物等に対して景観誘導を行います。
- 来訪者が景色を楽しむことができるビューポイントを設定し、景観保全を行います。



参考事例：鳥取市立久松小学校



参考事例：鳥取県立鳥取西高等学校

周辺の公共施設は、景観と調和する外観・色彩としています。

久松山を背景にして、城跡、仁風閣、石垣の変化、擬宝珠橋などが立体的に見渡せる場所をビューポイントに設定。お堀沿いの木柵についても、ビューポイントからの視界を妨げない高さとしています。



ビューポイント②から見る桜の時期の久松公園と仁風閣



### 施策3

### 市民や観光客の受け入れ態勢づくり

#### 1. 城跡にぎわい拠点の整備

##### 【取り組み】

- 複合型ビジターセンターとして、情報発信スペースや飲食スペース、クールシェルター、バリアフリートイレ等を一体的に整備します。



現況：既存トイレ・東屋

#### 4. 案内・解説機能の拡充

##### 【取り組み】

- 日本遺産、文化財等のポイントごとに案内・解説板を設置するとともに、城跡ARコンテンツ等を活用し、城跡の歴史・魅力を伝えます。
- インフォメーション・ガイドスタッフを育成するとともに、音声翻訳機能付きウェブサイト等を活用し外国人観光客等に対応します。



音声翻訳機能付きウェブサイト



日本遺産 (文化交流課)



文化財解説板 (文化財課)



二ノ丸三階櫓 AR



ボランティアガイド詰所  
(仁風閣ガイダンス施設内)

## 5. イベントや体験コンテンツの拡充

### 【取り組み】

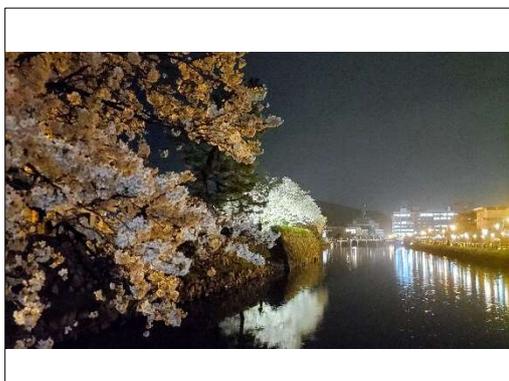
- 城跡エリア及び城跡周辺エリアの魅力を発信し、体験してもらいイベントを行います。



鳥取三万石お城まつり



鳥取城跡ときめきマルシェ



桜のライトアップ



城跡ライトアップ